

川路 聖謨(かわじ としあきら)

資 料

短冊『雪の声といふことを 夏むしの 窓うつはかり
音するに ゆきとはしらす 夜半の静けさ 聖謨』

作 者

1801(享和元). 4. 25-1868(慶応4). 3. 15

豊後(大分県)日田生まれ。

旗本川路家の養子になり、勘定奉行兼海防掛となる。安政元年伊豆下田で日露和親条約に調印し、安政5年日米修好通商条約締結の勅許を求めるが失敗する。将軍継嗣問題で一時失脚するが、のち外国奉行となる。明治維新の際、短銃で自殺する。

参考文献

『東洋金鴻 英国留学生への通信』(川路聖謨／著 平凡社(東洋文庫 343) 1978. 11

[県立 289. 1/1461(10535094)]

『川路聖謨』(川田貞夫／著 吉川弘文館(人物叢書 新装版) 1997. 10

[県立 289. 1GG/3603(20982765)]

